

トップメッセージ

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第117期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、当社の事業概況やその取り組みおよび成果等につきまして、ご報告させていただきます。

当社では、このたび代表取締役社長 岩田裕美が代表取締役会長に就任し、後任として私が社長に就任いたしました。社業発展のため専心努力いたす所存でございますので、今後ともいっそうのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉川 芳和



まずはじめに、一連の独占禁止法違反事件につきまして、株主の皆様、お取引先をはじめ関係各位に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社としましては、かかる事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けてコンプライアンスの一層の強化、徹底を図り、皆様からの信頼回復に全力を挙げて努めてまいり所存であります。

当期の経営成績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果等により、景気は緩やかな回復基調が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、設備投

企業理念

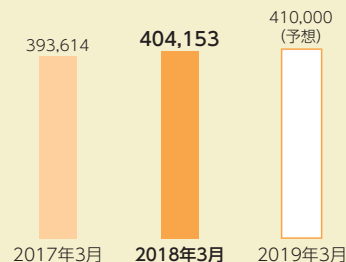
わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

連結決算ハイライト

売上高（単位:百万円）



資も緩やかに増加しているものの、労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売の強化に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は4,041億53百万円（前期比2.7%増）となりました。

利益につきましては、経常利益は403億45百万円（前期比11.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は266億10百万円（前期比6.7%減）となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、（一般土木事業）を新たな報告セグメントとして追加しており、前年同期比較については変更後の区分方法に組み替えたものによっています。

次期の見通しについて

建設業界におきましては、設備投資は企業収益の改善や成長分野への対応等を背景に増加していくことが期待され、公共

第118期 連結業績予想

億円 前期比

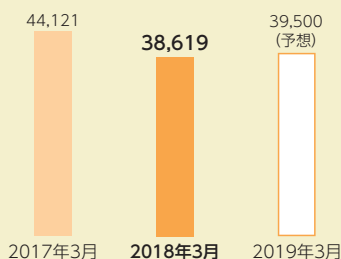
売上高	4,100	+ 1.4%
営業利益	395	+ 2.3%
経常利益	410	+ 1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	270	+ 1.5%

投資の先行きも補正予算の効果もあって、底堅く推移していくことが見込まれますが、企業間の熾烈な受注競争のもと、業界を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

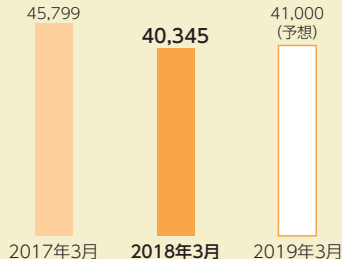
このような環境の中、当社グループは、技術と経営に優れた企業集団として技術力の向上、営業力の強化、原材料価格への適切な対応に努めるほか、生産性の向上とコスト削減を確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいります。そして、中長期的な経営ビジョンをもって収益基盤の一層の強化を進めるとともに、事業の安定化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

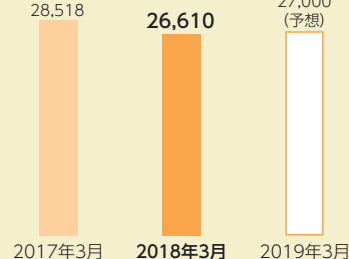
営業利益（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）

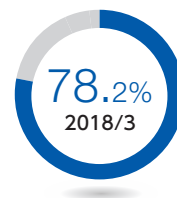


建設事業

当社グループは建設業法に基づく国土交通大臣許可を受けた建設業、およびこれに関連する事業を行っています。建設事業は当社グループの主要部門であり、「舗装土木事業」「一般土木事業」「建築事業」で構成されています。



売上高構成比



舗装土木事業

事業内容 1934年の設立以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を活かした道路舗装土木事業を行ってきました。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持修繕の重要性が一層高まっています。



一般土木事業

事業内容 当社グループは、「土」とのかかわりから培ってきたノウハウを基に、各種土木事業の施工を実施してきました。これからも、自然との融和を図り、大地の有効活用により、ゆとりある快適な環境を創出していきます。



建築事業

事業内容 1983年から本格的に建築事業に取り組み、組織力を活かした総合事業に大きな信頼を寄せていただいております。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。



製造・販売事業

売上高

617億31百万円
前期比 2.6%増 ↗

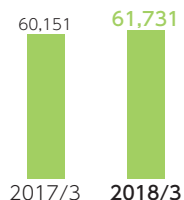
営業利益

116億30百万円
前期比 20.3%減 ↘

事業内容

道路を舗装するために最も多く使用されている材料がアスファルト合材です。当社グループは全国約160ヶ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、当社グループの工事で使用するだけでなく、ほかの舗装業者にも販売しています。また、循環型社会形成のために、舗装廃材のリサイクルシステムを構築し、アスファルト舗装廃材を受け入れて、自社工場で再生・再利用しています。

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



開発事業

売上高

192億38百万円
前期比 9.3%減 ↘

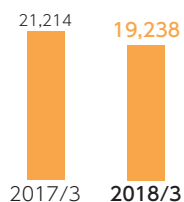
営業利益

31億76百万円
前期比 0.2%増 ↗

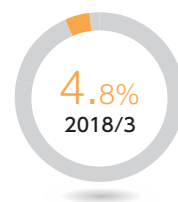
事業内容

当社グループのネットワークとノウハウを活かし、デベロッパーとして安心・快適な街づくりに取り組んでいます。宅地開発・建物分譲事業、マンション分譲事業(ル・サンク「Le Cinq」シリーズ)、オリジナル住宅事業(グラチア「GRATIAE」シリーズ)、不動産賃貸事業(アーバス「ABAS」シリーズ)などを展開し、都心部や中核都市で、安心・快適に過ごせる商品を提供しています。

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



その他

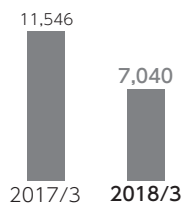
売上高

70億40百万円
前期比 12.0%減 ↘

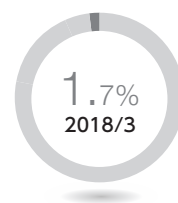
営業利益

10億円
前期比 10.9%減 ↘

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



主要工事

主要完成工事

発注者	工事名
株式会社大京	(仮称) ライオンズ北2東2 新築工事
国土交通省 北海道開発局	新千歳空港 A滑走路舗装老朽化対策工事
東日本高速道路株式会社 東北支社	東北自動車道 盛岡管内舗装補修工事
首都高速道路株式会社	(修) 舗装改修工事1-203
東日本高速道路株式会社 新潟支社	北陸自動車道 H28上越管内舗装補修工事
中日本高速道路株式会社 金沢支社	北陸自動車道 富山管内舗装補修工事(平成27年度)
愛知県警察本部	愛知警察署庁舎建築工事
阪神高速道路株式会社	舗装補修大規模修繕工事 (29-4-岸・湾岸)
JX不動産株式会社	(仮称) 大阪市浪速区桜川二丁目計画 建設工事
西日本高速道路株式会社 中国支社	山陽自動車道 備前IC~笠岡IC間舗装補修工事

主要未成工事

発注者	工事名
東日本高速道路株式会社 北海道支社	北海道横断自動車道 小樽東舗装工事
東日本高速道路株式会社 東北支社	東北中央自動車道 上山舗装工事
東日本高速道路株式会社 東北支社	秋田自動車道 横手管内舗装補修工事
首都高速道路株式会社	高速横浜環状北西線他舗装他工事
東日本高速道路株式会社 新潟支社	上信越自動車道 上越舗装工事
東日本高速道路株式会社 新潟支社	北陸自動車道 H30上越管内舗装補修工事
中日本高速道路株式会社 名古屋支社	新名神高速道路 菰野舗装工事
大阪市水道局	柴島浄水場上系配水池改良工事
JXTGエネルギー株式会社	和歌山製油所社宅解体および更地化工事
国土交通省 沖縄総合事務局	那覇空港滑走路増設 2 工区舗装等工事